

**特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」
ボウリング競技実施要領**

1 競技規則

令和5年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本パラスポーツ協会制定）によるもののほか、この要領の定めるところによる。

2 競技方法

- (1) 試合の方法は、デュアルレーン（アメリカン）方式で行う。
- (2) 競技はすべてスクラッチ4ゲームとし、その合計得点により順位を決定する。
※ 順位の決定の際、同点の成績の場合は、規定に基づきゲームローハイにて決定する。
- (3) 原則として、ゲームは1ボックス（2レーン）8名までとし、1フレームごとに交代で投球する。
- (4) 投球練習は、競技開始前に競技役員の指示により、各選手が競技を行う2つのレーンで10分間行う。
- (5) 隣り合ったレーンで、同時に投球姿勢に入った場合は、右側レーンの選手を優先する。
- (6) ファウルについては、自動式ファウル判定機を使用する。
- (7) オートマチックスコアラーの操作、個人記録カードの記入は、全て競技役員が行う。
- (8) 競技は、競技日程に基づき実施し、全て競技役員の指示で行う。

3 服装等

- (1) 服装は、ボウリング競技をする上で支障のないものを着用する。
- (2) ソックスを必ず履くこと。
- (3) 番号布（ゼッケン）は、主催者が交付したものを胸部及び背部に付ける。

4 招集

- (1) 招集は、所定の場所で行う。
- (2) 招集は、原則として開始20分前から指定されたボックスで行い、開始10分前に完了する。
- (3) 招集完了時刻に遅れた選手は、棄権したものとみなし、競技に出場できない。

5 開始式・表彰式

- (1) 開始式は、競技開始前に競技会場で行う。
- (2) 表彰式は、各シフトの競技終了後に競技会場で行う。

6 その他

- (1) 監督会議は、令和5年10月27日（金）に行う。なお、監督会議の時間及び場所については別途通知する。
- (2) 競技場内へは、主催者の許可を受けた者以外は立ち入ることができない。
- (3) 選手は、競技中ボウラースベンチを離れてはならない。やむを得ず離れる場合は、必ず競技役員に申し出ること。
- (4) 各選手団において選手以外にボウラースエリアに入ることができる者は、選手、監督またはコーチ（各選手団、IDカードを付けた1名のみ）、競技役員、競技補助員とする。ただし、各選手団の監督またはコーチが立ち入ることができるエリアは、自チームが競技しているボックス内のみとする。
また、ボウラースエリアに入る際は、必ず屋内シューズを着用すること。
- (5) 競技会場のハウスボール及びハウスシューズを使用する場合は、参加申込書に基づき、主催者が競技会場で用意する。
ア ハウスシューズは、主催者が所定の場所に用意し、選手はボウラースエリア後方の通路で履き替える。
イ ハウスボールは、主催者が所定の場所に用意し、選手は競技終了後、速やかに元の場所に返却する。
- (6) ボールを拭くタオルは、選手自ら用意すること。
- (7) 競技上不明な点は、競技本部に問い合わせること。
- (8) 荒天時ほか不測の事態が生じた場合の取扱いは、主催者において別途決定する。